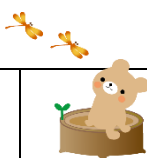


学校便り



学校教育目標

知徳体の調和のとれた品性ある子の育成
—チャレンジいっぱい 笑顔いっぱいの学校—

すすんで考えを伝え合う子

思いやりを形で表す子

粘り強く取り組む子

前期学校評価の結果のお知らせ

まだまだ暑い日が続いています。保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月に実施しました「保護者アンケート」「教員アンケート」「児童アンケート」の結果を報告させていただきます。

1 保護者アンケート

	お子さんの様子	前期 (%)	前年度後期 (%)
1	お子さんは、学校は楽しいと思っている。	96	96
2	学校は、お子さんのことについて相談に応じてくれる。	99	98
3	お子さんは、授業はわかりやすいと思っている。	93	90
4	お子さんは、10分×学年の家庭学習をしている。	78	74
5	お子さんは自分からあいさつをしている。	86	95
6	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	92	70
7	お子さんは進んで体をよく動かしている。	88	94
8	お子さんの話や学校からのおたより等で、学校の様子がわかる。	93	88

2 教員アンケート

	評価観点	前期 (%)	前年度後期 (%)
1	児童は学校で楽しく過ごしている。	100	100
2	児童の様子を把握し、家庭への連絡や相談等、適切な対応を心がけている。	100	100
3	仕事に優先順位をつけ、効率よい働き方になるよう工夫している。	72	88
4	ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。	88	100
5	根拠・理由を引き出す授業づくりをしている。	82	—
6	児童は根拠・理由をつけて発表している。	71	—
7	家庭学習の習慣化を進めるため、宿題の内容を指導・工夫している。	94	100
8	あいさつ等、児童の自発的な活動を促すような場の設定や指導を工夫している。	89	100
9	児童は、自分から挨拶をしている。	50	—
10	児童が最後まで話を聞くように働きかけをしていますか。	100	—
11	児童は先生や友達の話最後まで聞いている。	67	—
12	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	77	82
13	体育の時間やその他の時間で、目標を持って進んで運動に取り組めるよう働きかけている。	94	94
14	児童主体の特別活動になるよう、話し合い活動を充実させるよう指導している。	81	—
15	係や委員会の活動に責任を持って取り組めるよう働きかけている。	94	—
16	おたよりやHP等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。	82	88

※—は昨年度の内容項目を変更

3 児童アンケート

	自分の様子	前期 (%)	前年度後期 (%)
1	学校は、楽しいですか。	97	98
2	困ったことがあったら先生に相談できますか。	86	77
3	授業は、わかりやすいですか。	93	94
4	自分の考えを根拠・理由をつけて書いたり話したりしていますか。	78	—
5	10分×学年の家庭学習をしていますか。	91	84
6	自分からあいさつしていますか。	94	91
7	先生や友達の話最後まで聞いていますか。	95	—
8	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしていますか。	89	86
9	目標を持って進んで運動をしていますか。	93	—
10	学校や学級をよくするために積極的に話し合に参加している。	90	85
11	係や委員会の活動を忘れずしっかり取り組みましたか。	93	95
12	お家の人と学校の話をしていますか。	91	81

※ーは昨年度の内容項目を変更



4 分析と改善策

(1) あいさつ (思いやりを形で表す子)

今年は、「顔を見て自分から挨拶ができる児童」をキーワードに、朝のあいさつ、授業のあいさつ、来校者へのあいさつ、帰りのあいさつなどを大切にしながら指導しています。児童は先生や来校者に自分からあいさつできている(94%)とと思っているようですが、保護者の皆様は(86%)、教職員は(89%)であり、子どもと大人ではやや隔たりがあります。そこで、挨拶の基本に立ち返り、あいさつの必要性やマナーについて再度指導します。また、9月の始業時、集中的に取組を行い、日常的に自分から自然に挨拶ができる児童を目指します。ご家庭でも、ぜひ「自分から」をキーワードに、気持ちの通い合う挨拶ができるようご協力をお願い致します。

(2) 伝え合う (すすんで考えを伝え合う子)

授業中、「根拠・理由を引き出す授業づくりをしている(教員)」は82%、「自分の考えを根拠・理由をつけて書いたり話したりしている(児童)」は78%でした。教師が問い返しを行うなどすることで児童は根拠や理由をつけて考えを伝えるようにしていますが、「できている」という実感が足りていないと考えています。児童の発言を意識的に褒めたり認めたりするなどして、使っている自覚をもたせていきます。また、考えは必ず根拠・理由のセットで持つということを徹底していきます。さらに、根拠・理由を「引き出す」ために、児童の考えの共通点や相違点、不十分なところを整理して行うことを共通に取組んでいきます。



(3) 家庭学習

家庭学習については、高学年の保護者に「あてはまらない」の割合が高い傾向にあり、全体では78%となっていますが、児童は91%、教師は94%であり、学年に応じた十分な課題を提示し児童も取り組んでいると考えています。今後も必要に応じて個別の対応も考えながら粘り強く取り組んでいきます。



ご家庭でも、お声かけはもちろん、様子や内容をご覧頂き、必要に応じて、手をかけて頂く等、引き続き、家庭学習へのお子さんの取組に関心を向けて頂きますようお願い致します。

(4) 笑顔いっぱいの特別活動 (粘り強く取り組む子)

係活動等につきましては、児童・教師共に90%を越える高い結果となりました。それを支える「学校や学級をよくするための話し合い」に関しても児童は90%と伸びてきています。やや否定的な意見の原因として、高学年では、自分の考えを発言することに抵抗感があり、低学年では、経験不足が考えられています。また、教師側も話し合いの時間を十分に取れなかったことが評価を伸ばすことができなかった原因と考えています。2学期以降、話し合いの良さを全校で共有し、児童自らが学校生活を楽しむ発信源となるよう働きかけを行っていきます。



※「学校は楽しいですか」、「学校は、お子さんのことについて相談に応じてくれる」の割合が高い結果となり嬉しいことです。しかし、否定的評価にチェックが入った項目については、機を逃さず必要に応じて働きかけを行っていきます。今後ともこの結果に満足せず100%を目指し工夫、改善していきます。ご心配やご相談などありましたら、いつでも学校へご連絡下さい。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

学校関係者評価委員会 (令和4年8月26日(金))より

- ・挨拶は地域でもあまりよくないので、家庭と地域とさらに連携していくと良い。
- ・学校での困り事は、地域とも相談していくと良い。